

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名： こども学 ナンバリング：2201		保育士資格取得のための 必修科目		単位数：2単位 (半期) 講義		担当教員名：久米隼	
						担当形態：単独	
系 列		保育の対象の理解に関する科目					
教科目							
授業の到達目標及びテーマ							
1. 「こども」についての概念を理解できる。							
2. 保育所・幼稚園において展開される日々の活動が「保育のねらい」に基づくものであることの認識を深めることができる。							
3. こどもにとって欠かすことのできない「遊ぶ」をはぐくむために保育者としての役割を理解することができる。							
授業の概要							
心理学、社会学、文化人類学等、様々な見地から「こども」を概観し「こどもの文化」を捉えた上で、「昔遊び」など実際に保育で取り入れたい内容を実践的に学ぶ。							
また、現代の「こども」を取り巻く問題、保育者の役割や保育の課題等について考える。							
授業計画				授業時間外の学習			
第1回：オリエンテーション・こども学での「学び」				・毎回の講義について復習し、			
第2回：こども学の領域と子どもという概念				学びや気づきの整理、課題な			
第3回：私がこどもだった頃				どに取り組む（授業ごとに1			
第4回：幼稚園教育要領・保育所保育指針から「こども」を考える				時間程度）			
第5回：こどもにとって遊びとは				・日頃からこどもと触れ合う機会			
第6回：こどもの遊び①～自然を素材にして遊ぶ				を多く持ち、また公園等でこども			
第7回：こどもの遊び②～環境を素材にして遊ぶ（サウンドスケープ）				の様子を意識的に観察すること			
第8回：こどもの遊び③～廃材を素材にして遊ぶ				で、自分がこどもだった頃との			
第9回：こどもの遊びと文化・伝統・風習				違いを考えておくこと。			
第10回：中間振り返り							
第11回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは①～こども理解							
第12回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは②～保護者理解							
第13回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは③～環境理解							
第14回：遊びを学びにつなげる							
第15回：保育者として必要な資質とは何か							
定期試験：筆記							
授業の方法							
講義とグループワークを中心に授業をすすめる。提出物、レポートにコメントを入れてフィードバックする。							
テキスト							
『幼稚園教育要領解説＜平成30年3月＞』文部科学省、フレーベル館							
『保育所保育指針解説＜平成30年3月＞』厚生労働省、フレーベル館							
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説＜平成30年3月＞』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館							
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する。							
学生に対する評価							
授業内課題・リアクションペーパー(40%)、定期試験（30%）、授業参画(30%)を総合的に評価する。							
※教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにレーブリックを活用する。							
履修上の注意 目的意識を持って授業に臨むこと。							
授業では毎回課題を出す。自分の考えを整理し、自らの言葉で伝える力を身に付けること。							
実務経験の有無		有		実務経験		子育て支援に取り組むNPO組織の運営・実践 等	
実務経験を活かした教育内容							
非営利組織（NPO）等の運営や活動に携わった実践経験を活かし、具体的事例をもとに授業をする。							